

平成30年3月霧島山(新燃岳)噴火に伴う対応

平成30年3月5日
砂防部

- 霧島山(新燃岳)で平成30年3月1日11時頃噴火が発生し、警戒範囲が火口から概ね2kmから3kmに拡大(噴火警戒レベルは3が継続)。
- 降灰状況の把握のため、九州地方整備局が1日からヘリ調査や地上からの現地調査を実施。調査の結果、新燃岳の北東側から南東側かけて火山灰の堆積が認められたものの、山麓で厚い火山灰の堆積は認められず、今後も火山の状況を注視しながら観測を継続する予定。
- 3月5日(10時現在)に、新燃岳周辺の雨量観測所(矢岳観測所)で最大時間雨量約40mm、累積雨量約100mmの降水を観測したが、現在のところ土石流は非発生。



降灰調査の様子(平成30年3月3日)

<参考> 霧島山(新燃岳)周辺の溪流の状況 (高崎川流域)

① 花堂橋付近 平成30年3月5日 9:45現在



② 下川原橋付近 平成30年3月5日 9:45現在



③ 神武大橋付近 平成30年3月5日 9:45現在



④ 大幡第1堰堤 平成30年3月5日 9:45現在

